

令和6年度 鹿沼ケーブルテレビ放送番組審議委員会

議事録

<日時> 令和7年2月18日(火) 12時00分～13時30分

<場所> 鹿沼商工会議所 特別会議室

<放送番組審議委員 出席者> 7名

鈴木 貢	会 長	鹿沼文化協会会長
青木孝雄	副会長	J Aかみつが代表理事組合長
松井正一	委 員	鹿沼市長
谷中恵子	委 員	鹿沼市議会議長
小林俊明	委 員	鹿沼市自治会連合会会長
斎藤陽子	委 員	鹿沼市社会教育委副委員長
高橋真樹	代理出席	鹿沼商工会議所事務局長

<鹿沼ケーブルテレビ株式会社 出席者> 3名

田濤広行	代表取締役社長
野口重彦	統括本部長
高田了輔	放送部課長

<議案書作成>

鹿沼ケーブルテレビ放送番組審議会 事務局
高田了輔 放送部課長

1. 開会
2. 鹿沼ケーブルテレビ株式会社 代表取締役社長挨拶
3. 放送番組審議会 会長挨拶
4. 放送番組審議会委員 紹介
5. 議事

<議事内容>

(1) 報告事項

- ① 令和6年度「かぬまチャンネル」に関する報告
 1. 加入状況について
 2. 「かぬまチャンネル」番組編成について
 3. 主な番組について
- ② 令和6年度の主な自主放送設備改修に関する報告
 1. 自主放送送出設備の老朽化に伴う、更改
- ③ 令和6年度の主な取り組み
 1. 加園地区(見立橋)への情報カメラ新設

(委 員)

加蘇地区は川が細くて狭いというのがあって水の氾濫が多い。このカメラの設置にあたり現場にも行き、実際のテレビ画像も見せていただいた。防災に役立たせたい。

(C A T V)

住民の方に少しでも役立つようなカメラを市内に順次検討していきたい。次年度の計画としては、黒川の上流、板荷地区、見野地区あたりで1基増やしたい。

(委 員)

カメラは高い位置にあるが、清掃はどのくらいの頻度で行っているのか。

(C A T V)

清掃は3ヶ月ごとを目安に順次点検に回っている。ワイパーが付いているカメラもあり本社からリモートで動かすこともできる。

報告事項について、鹿沼ケーブルテレビ統括本部長の野口より資料を基に説明があり、質問に対しては上記のとおり返答をおこなった。

(2) 協議事項

- ① 「かぬまチャンネル」へのご意見・ご要望

(委 員)

学童のスポーツイベントなどを放送してもらっているが、鹿沼市外の選手には見てもらえない。視聴エリアの拡大はできないものか。

(C A T V)

視聴エリアは総務省への申請事項であり、鹿沼ケーブルテレビがサービス提供の許可を受けているエリアは鹿沼市だけ。現在「1行政区域に1ケーブルテレビ」という規制は撤廃され制度上はエリアを伸ばすことは可能だが、現実問題エリア拡張は難しい。取材エリアについては、自社で行けなくても市民カメラマン的な方に映像を持ち込んでもらい放送するということが可能だと思う。品質面・技術面での課題はあると思うが、そういった可能性も含めて考えていければ。

(委 員)

職員には小中学生の親も多く取材があるとその話題が出る。楽しみにしている人も多いので見られる人が増えないもったいないと感じている。40、50代のデジタル世代にPRしながら、「ミルシカ」でスマホで見てもらおうということもPRしてほしい。

(委 員)

鹿沼市全域にケーブルテレビのシェアが広がった、このスケールメリットを最大限生かした取り組みという面で相談したい。市としては、防災面でリアルタイムでの情報提供がしたい。ケーブルテレビとの連携として、例えば災害発生時、市役所の対策本部から情報をライブで伝えるのはどうか。

粟野地区では、過去に何度か大規模な災害があった場所がある。定点カメラの増設にあたり、その設置場所の検討に、特に粟野地区を考えていただけるとありがたい。日頃の取材活動にあたり、市からの情報共有という面で行き届かない部分があれば、逆にご指摘いただきたい。

(C A T V)

ケーブルテレビの使命は、まず地域情報を発信するということがあり、災害時の情報発信が非常に重要だという認識は同様に持っている。現時点で、市から直接文字情報を発信できる仕組みはできている。災害発生時の生中継による情報発信という点では、まず弊社社員の安否確認をした上で、どこまで対応が可能か検討していきたい。

防災カメラについては、予算の関係もあるが、毎年1基ないし2基を増やそうと動いている。地域住民、市の危機管理課と相談し、重要な箇所から優先して設置していきたい。

(C A T V)

市の危機管理課とは互いの緊急連絡体制を毎年度確認している。今後は市の防災訓練に情報伝達者としてケーブルテレビも参加するなど、災害時の連携を確認するための仕組みづくりを検討している

(C A T V)

取材については広報広聴係を通して様々な情報を受けているが、日程が明日や明後日など直前の連絡である場合の対応は難しい。内容はまだ決まりきっていなくても日程だけでも早めに情報が受けられるとありがたい。

(委 員)

市議会については、一般質問、本会議の生中継だけでなく、議場コンサート、議会報告会、意見交換会なども取材してもらい大変嬉しく思っている。「開かれた議会」として多くの皆さんに活動を知ってもらわなくてはならない。「議員が日頃何をしているかわからない」という市民の意見があるので、そういう点でもケーブルテレ

ビで放映してもらうのはありがたい。

(委 員)

自治会では、役員継承や会員不足などの課題がある。広報不足が大きいと思っている。自治会とはこういうものを行っているんだよという紹介を自分たちでも作って、ケーブルテレビでも隙間の時間などで放送してもらえると、何かのタイミングで見られる人もいるのかなと思う。上手く PR してもらえるとありがたい。

(C A T V)

広報については積極的に協力できると思うので活用して欲しい。他のケーブルテレビ局では DX を活用した自治会のサポートの事例などもある。

(委 員)

鹿沼市のように家庭教育が全ての学校にあるというのは全国的に珍しい。その家庭教育は今成り手が不足している。各学校で独自に取り組んでいるが、知っている方は本当に少ない。ぜひそういったものを放送して欲しい。

(C A T V)

学校関連の情報はこちらからキャッチするのが難しかったりもするので、情報を受けられれば、家庭教育について紹介することもできると思う。

(委 員)

全ての公共施設に Wi-Fi 環境を導入したらどうか。災害の時に避難所になった場合も活かされる。Wi-Fi 環境が整ってくると、例えば観光に来た方はスマホでいろんな所を調べているはず。そうすると Wi-Fi があると非常に助かるんじゃないか。今市内の企業が一番困っているのは人手不足。材料の高騰などもあるが、なにせ「人がいない」、「人が集まらない」という話が非常に多い。募集をかけても来ない。新しい人を採用するというのはやはり簡単ではない。高校生は進学でいったん東京に出るかもしれないが、就職で鹿沼に戻ってきてもらうには、鹿沼の事業所を知らないといけない。そこでケーブルテレビや商工会議所や市が上手く企業の PR をする手段がないだろうか。高校生はテレビを見ないだろうからなかなか難しいと思うが、ダイレクトに届けるようなものがないか。

鹿沼市は物作りの町であり職人の多い町であるが、日本は欧州に比べて職人の地位が低い。若い人が職人を目指すような待遇の改善が必要ではないか。今ならまだ技術の伝承もできるかもしれない。そういう技術を持つ職人をピックアップして PR するのも、若い人に鹿沼に住んでももらう手段の 1 つではないかと考えている。

(C A T V)

市内のインターネット環境ということで言えば、去年、実証実験から始めて、市内全てのコミュニティセンター、市民情報センター、市役所ロビーに Wi-Fi 環境を整備した実績がある。Wi-Fi 環境はインバウンドを呼び込むのにも絶対に必要な部分

だと思うので積極的に協力したい。

人手不足はどこの会社も深刻な問題。番組を通じて市内企業の PR ができたらと思うが、それを市外にいる人たちにどうやって見てもらうか。インターネット番組配信サービスの「ミルシカ」は活用できると考えている。また、ケーブルテレビとして市内への移住の促進にも協力できることはあると思う。

(委 員)

文化協会の各団体では、新型コロナウイルスが 5 類感染症に移行したことにより、活動を再開している。しかし、高齢者にとってはこの 4 年というブランクは大きく、再開する体力のない団体もある。文化が豊かになれば市民も元気になるし、市民が元気になれば産業も経済も発展すると思っている。文化協会も一生懸命頑張るし、それを伝えられるのがケーブルテレビの放送だと思っているので、引き続きよろしくお願いしたい。

(C A T V)

市民文化祭には多くの人に参加され、また放送を見ている人も多い。番組コンテンツとしては重要な位置づけであり取材放送は継続していきたい。活動団体の継続という部分でも、番組の視聴が市民の参加に繋がればと考えている。

以上